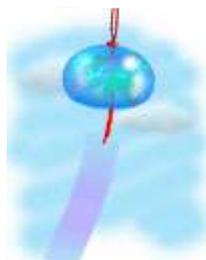


# BETHEL 2011年8月号 (第97号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000

ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>

## 流れ行く歲月の中で・・・



長かった梅雨も明け、暑い日々が続く中、福島第一原発の事故の影響で企業も家庭も節電取り組みの対応に追われる報道をよく耳に目にします。われわれの生まれ育った昭和3・40年代は、両親も祖父母も戦後の苦難から節電・節約は当然のことと考え、育てられたように思います。しかし高度経済成長期・バブル期を経て、知らず知らず消費生活に何の疑問も感じない生活は、物求める欲を夢と感じた様にも思います。そんな時代を経て今、節電・節約の言葉がなにかしら新鮮に感じています。

そんな中、ベテル病院は新しい時代に向けて増改築工事がすすんでおります。私が記憶するに、今回の工事は、3度目の大きな増改築となります。時代の流れの中で、必要な時期に必要な増改築がなされ、その流れの中で、多少意見の相違や、困難はありますが、悩みや苦難を受け止められ、ある時は受け止め、患者さまやご家族が望む医療により添ってきたように思います。

患者さまもご家族も職員も、縁あってベテルに集い、療養生活・日常生活・仕事にと・・・様々な苦難もありはしますが、ベテルの「愛の精神」が好きで集っています。この場に居れば、「ずっとやさしい自分でいれる」そんな安心感すらあります。そんな自分が好きで、そんな場所が好きで集っています。

聖愛会もベテル病院も、大きくなり、集う人も多くなりました。システムで動かなければ機能しない事がたくさんできてきました。しかし、アットホームでさりげない愛に包まれ、互いが信頼関係の中で育むことが出来るそんな心地よい場所であればいいなと思います。

ベテル病院の3度目の増改築が、これから集う人々の安らぎの場であり、わが道を謙虚に、そして堂々と生き抜くエネルギーの沸く場所であることを祈ります。

ベテルに集い25年になる私は、集う人々に育てられ、今も笑顔でこの場所に集うことができることに、幸せに感じています。(2階病棟師長 中野 民子)





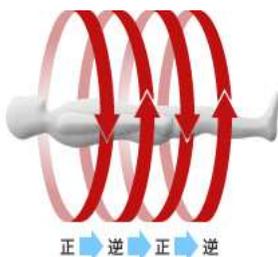
## CTの歴史

CTとは(Computed Tomography) コンピューテッド トモグラフィーと言います。コンピュータ解析による断層X線写真のことです。人体に多数の方向からX線を照射し、体の断面を画像化する装置です。

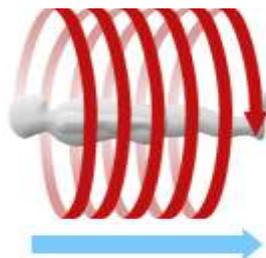
### ノンヘリカルCTとヘリカルCT

CT装置が日本に初めて導入されたのは1975年頃でした。当時は単に輪切りの平面画像を撮影するものでした。しかし、時代と共に装置も進化し患者様が寝ている寝台(ベッド)の周りをX線管球が1回転し、ふたたび寝台を少しずらしてまたX線管球が回転する。しかし、X線管球や検出器は導線につながっているために配線が絡みにくいように、回転方向を正→逆→正→逆・・・とその都度交互に変えていました。この方式を「**ノンヘリカルCT**」と言い、メーカーによっては「コンベンショナルまたは、クラスター」CTと呼ばれています。

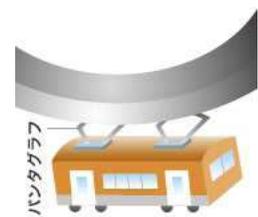
1990年に入りヘリカルCTが登場しました。このヘリカルCTとは、患者様が寝ている寝台(ベット)を移動させながらX線をらせん状に連続回転させながら撮影をおこないます。これで立体画像の撮影が可能になりました。この方式を「**ヘリカルスキャン**」と言い、メーカーによっては「スパイラルまたはボリューム」スキャンと呼ばれています。ヘリカルCTに大きく貢献したのが「スリッピング」です。スリッピングは導線の変わりに金属と金属が接触して通電できる電車のパンタグラフのような部材によって連続回転が可能となりました。



「**ノンヘリカルCT**」



「**ヘリカルCT**」



「**パンタグラフ**」

次回は、X線の検出器を複数にすることで複数の画像が撮影できる「マルチスライスCT」のお話をいたします。

(放射線科 大西 治男)

## 外来からのお知らせ

◎ 8月15日(月)は全科休診です。

そのため、マイクロバスは全便運休となります。

◎ 8月の休診(7月22日現在)

8月1日(月)	内科	加藤喜久美 医師
8月4日(木)	内科	加藤喜久美 医師
8月8日(月)	内外科	加藤喜久美 医師
8月11日(木)	外科	中橋恒 医師
8月16日(火)	外科	竹内亮 医師
8月17日(水)	内科	奥田恵理哉 医師
8月19日(金)	整形外科	益田紀志雄 医師
8月29日(月)	内科	西久保直樹 医師

◎ 8月精神科・神経科外来診療日のお知らせ(豊田 泰孝 医師)

8月10日(水)、8月24日(水)

7月11日(月)

一年ぶりにTAMATAMA カンタービシの方々が来て下さいました。

皆さんが一度は耳にしたことがある『浜辺の歌』等を専断してくれました。

今回は、テレビでもよく取り上げられた、『ゲゲゲの女房』や、『てっぺん』の主題歌なども、聴かせてくれました。

また、三人のコーラス隊と一緒に『見上げてごらん夜の星を』を歌い、皆さんもリラックスした表情で演奏に聴き入っていました。



ベテル'S  
ガーデン

ベテル'Sガーデン番外編です。

みなさん『玉虫(たまむし)』ってご存知ですか？

ラブリーガーデンのおお客様です★

ボランティアさんに感謝！



ベテル旬会

台風や

岬の灯り

消えんとす

(千田尾元子)

胃を切って

蜥蜴(トカゲ)の如く

生きる術

(平岡 恵風)

一雨(いちう)あり

昨日の猛暑

洗いけり

(谷 節子)

夏休み

学び抜け出し

小麦色

(山下早知子)

暑がりも

一時停止の

台風雨

(風 車)

若き日の

あやまり想い

悩む夏

(猪野 蒔平)

天の川

星の流れに

何願う

(門田 節子)

水辺にて

亀の親子も

甲羅干し

(俊 山)

◎ 投句箱は外来・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。

※ 『ベテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。

発行日 2011年7月25日